

# 会 議 録

会議の名称	平成27年度大和郡山市地域公共交通総合連絡協議会	
開催日時	平成28年2月2日（火）13：30～14：00	
開催場所	市役所2階200会議室	
事務局	大和郡山市 総務部 企画政策課	
出席	委員	別紙のとおり
	事務局	八木企画政策課長 笠原企画政策課長補佐、石倉
欠席者	なし	
議題	1. 大和郡山市コミュニティバスの運行状況等について 2. 元気平和号及び元気治道号のバス停留所新設等について	

## 議 事 概 要

### 1. 開会（事務局）

委員の皆様には、ご多忙の中、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。会議に先立ちまして、本日のご出席者をご紹介申し上げます。（出席者を順番に紹介する。）以上、14名のご出席でございます。それでは、本協議会の会長であります上田大和郡山市長からご挨拶申し上げます。市長、よろしく申し上げます。

### 2. 挨拶（市長）

皆様こんにちは。今日のご参加いただきましてありがとうございます。

大和郡山市では、平成15年からコミュニティバスの運行を始めまして、気がつけば干支を一巡しているということでもあります。随分この間に、地域のありさまは変わったように思っております。

今回、議案にさせていただいています停留所の変更ですが、これは一つの村

の中でバス停が遠いので、変更してほしいという要望です。あまりこれまでそのような要望はなかったのですが、そうした意味において、大きく地域が変わってきているなど思うわけでございまして、ぜひこういう提案をさせていただくことについてご検討いただければありがたいと思います。

現在、コミュニティバスは3路線走っております。コミュニティバスが黒字になることはとても難しく、非常に厳しい中で税金を投入してやっているわけです。この問題にどう対応するのか、そんなことも考えていかなければなりません。あるいは、今以上に路線が必要なのか、そのようなことも含めて、これから議論をお願いしたいと思います。

お忙しい中、お集まりいただきまして、本日は本当にありがとうございました。

### 3. 議 題

#### (1) 大和郡山市コミュニティバスの運行状況等について

事務局から、資料『(1) 大和郡山市コミュニティバスの運行状況等について』に沿って、平成25、26年度のコミュニティバス経費、利用者数についての説明がある。

・ 運行業務委託料	25年度	3,404万1,000円
	26年度	3,482万3,300円
・ 利用者数(3路線)	25年度	35,803人(前年度比0.9%減)
	26年度	36,650人(前年度比2.4%増)

#### 【質疑応答】

**上田会長** 運行状況等についてですが、ご質問等ございますか。リース代についてはどうですか。

**事務局** 当初5年間のリース契約をしておりました。平成25年度に平和号と治道号の2台がリースアップして、残価価格で買い上げましたので、平和号、治道号はリース代が減っております。また平成26年度につきましては、城下町号が同じくリースアップして、こちらも残価価格で購入いたしましたので、前年と比べて減っているという状況でございます。

**上田会長** 特にご質問等ございませんか、よろしいですか。  
それでは続きまして、元気平和号及び元気治道号のバス停留所新設等について、事務局から説明してください。

## (2) 元気平和号及び元気治道号のバス停留所新設等について

事務局から、資料『(2) 元気平和号及び元気治道号のバス停留所新設等について』に沿って、下記の説明がある。

### ① 元気平和号に停留所『井戸野町東口』を新設する案

現行路線では、井戸野町集落から既存の停留所井戸野町までは相当の距離があるため、高齢者が利用しにくい状況となっている。そのため、平和地区自治連合会からの要望を受け、井戸野町集落の中に新停留所『井戸野町東口』を設置し、運行経路の延長を行い、地域住民の外出支援と利便性向上を図りたいもの。

【資料1参照】

### ② 元気治道号に停留所『伊豆七条町セレモニー琴前』を新設する案

現行路線の復路（近鉄・JR郡山駅方面から治道地区に向かう便）では、伊豆七条町集落から既存の停留所国道横田南までが、相当の距離があるため、高齢者などが利用しにくい状況となっている。そこで、治道地区自治連合会からの要望を受け、郡山ICのすぐ北側のセレモニー琴の敷地に、新停留所『伊豆七条町セレモニー琴前』を設置し、地域住民の外出支援と利便性向上を図りたいもの。

【資料2参照】

### ③ 停留所の新設に伴う運行ダイヤの見直し、一部停留所の名称変更

・上記2路線の停留所新設に伴い、運行ダイヤの見直しを行う。

【資料1・2の各2枚目参照】

・元気治道号の停留所『オークワ筒井店』の名称を、店舗名の変更に伴い、『オークワ筒井北店』と変更する。

### ④ その他

・①～③の変更実施予定日は、平成28年4月1日（金）。

・運賃は変更なし。

**【質疑応答】**

**上田会長** 停留所の変更、それから停留所名の変更ですが、ただいまの説明についてご意見等ありますか。地元の方々はいかがですか。

治道地区自治連合会  
会長 こちらは要望するほうですから、異議ございません。

**上田会長** 伊豆七条町の新しいバス停ですが、集落まで行くのに国道24号線を渡らないといけませんね。

治道地区自治連合会  
会長 それでも、かなり短くなっております。

**上田会長** 喜んでいただけたらありがたいことです。  
それでは、運行状況及びバス停留所の新設等について、また、ただいまの時刻案どおりということで、承認していただいてよろしいでしょうか。



**【異議無し】**

**上田会長** それではせっかくの機会ですから、もし何かこうした公共交通、地域交通について、お感じいただいていることがございましたらいかがでしょうか。

**奈良運輸支局** 話が戻って申し訳ないのですが、運行状況のところでは平成25年度から平成26年度にかけて、平和号の利用者が18%と増加しています。かなり目立ちますけれども、何か考えられる原因があれば参考に教えていただけますか。

**事務局** 平成24年まで平和号は恒常的に積み残しが発生しておりましたが、平成25年12月から元々1日3便であったのを、始発の便を片道だけですが、0.5便増便しております。すぐにその年の利用者数増に結びつかなかったのですが、平成26年度からはその影響で、利用者数の増につながっているのかなと考えております。

**奈良運輸支局** 0.5便というのは、朝だけですか。

事務局 そうです。第1便だけ平和地区から近鉄郡山駅、JR郡山駅に向かう往路の便を増やしています。

上田会長 路線バスが廃止になったのではないですか。

事務局 そうです。路線バスの廃止の影響で、コミュニティバスの利用者が増えております。

奈良運輸支局 それで積み残しが発生してしまったのですか。

奈良交通 そうです。

事務局 平成23年に奈良交通の路線バスが廃止になった影響で、その後、積み残しの問題が生じておりました。

上田会長 積み残しは、今はないのですか。

事務局 昨年に1カ月ほど期間を設けて、奈良交通に調査をお願いしました。その期間に関しては、積み残しの発生はなかったという報告をいただいております。地元の方が、自主的に調整されている可能性もあります。

上田会長 話は変わりますが、隣接する安堵町のコミュニティバス。去年から市内に停留所を設置してもらっていますが、状況はどうですか。利用してもらっていますか。

事務局 安堵町から定期的に報告いただいております。利用者がおられます。

奈良運輸支局 私も通勤で利用させてもらっています。

事務局 ありがとうございます。

上田会長 ほか、どうでしょう。

それでは、もしほかになれば終わりたいと思いますが、よろしいでしょうか。それでは以上で、本日の会議を終わりたいと思います。

ご協力をいただきまして、どうもありがとうございました。

以下余白